

QOL向上を目指す専門職間連携教育用教材

高齢者への投薬

1



新潟市に住むAさんは、80歳の女性です。同年代の夫との二人暮らしです。子供は、同じ市内でAさん夫婦とは別に暮らしています。

2



40歳の頃に検診で高血圧であることがわかった。

3







半年前からレンドルミン錠の服用をはじめた。この頃より軽い歩行障害が見られるようになったと夫から情報が入る。

7

自宅玄関そばの段差につまずいて転倒し、右大腿骨単純骨折のため二ヶ月前に入院した。

8

服用中の薬

- ロキソニン
- セルベックス
- アリセプト錠(認知症治療薬)
- レンドルミン錠(催眠薬)

現在は、ロキソニン、セルベックスを服用し、持ち込み薬として認知症治療薬であるアリセプト錠、催眠薬のレンドルミン錠を服用している。

9

■ アセスメント(1)

- 記憶
 - ・短期記憶: 問題あり
 - ・認知機能・思考決定: 軽度問題あり
- コミュニケーション
 - ・聴力: 問題なし
 - ・伝達能力: 伝達できるが時々うまくできない
 - ・理解力: 理解できるが時々うまくできない
- 視力
 - ・問題なし
- 問題行動・気分
 - ・問題行動: なし
 - ・うつ状態・不安: あり



10

■ アセスメント(2)

- 社会的機能
 - ・関与: 他者との交流あり
 - ・孤立: 日中
- 排泄
 - ・ほぼ全介護(オムツを使用)
- 栄養状態
 - ・体重の増減: あり
 - ・食事量の減少: あり
 - ・水分量の減少: あり
 - ・嚥下の問題: あり(最近、のどがつかえたり、錠剤を吐き出してしまう)



11

■ アセスメント(3)

- 口腔状態
 - ・咀嚼の問題: あり
 - ・口腔内の乾燥: あり
- 皮膚の状態
 - ・褥瘡: 要注意
 - ・褥瘡の既往: なし
 - ・皮膚は乾燥気味
- 特記事項
 - ・輸血歴: なし
 - ・体温: 微熱が続いている



12

QOL向上を目指す専門職間連携教育用教材

高齢者への投薬

制作著作 Copyright © 2010
「QOL向上を目指す専門職間連携教育用モジュール中心型カリキュラムの共同開発と実践」
(文部科学省 平成21年度 戦略的大学連携支援事業採択事業)
新潟医療福祉大学・埼玉県立大学・札幌医科大学・首都大学東京・日本社会事業大学

.....
原案 Portions Copyright © 2009
飯村菜穂子(新潟薬科大学)

13
